

□ 保健福祉学部 保健福祉学科コミュニケーション障害学コース(令和7年度入学生)

	授業科目の名称	配当年次	開講期				単位数		授業時間数	担当教員 ()は学外講師 ☆マークは代表教員	備考
			①	②	③	④	必修	選択			
学 び ス キ ル ・ リ テ ラ シー	大学基礎セミナーⅠ	1	○				1		30	☆山中、渡辺陽、木場、小野、田中 睦、古屋、小島、吉田、楊、永野	必修8単位 選択4単位以上 中国語・韓国語・ドイツ語は 各言語の母語話者、及び授業 の目標・内容を上回ることが 明らかなレベルの言語能力を 履修登録時にすでに有する者 の受講は認めない。 アカデミック日本語Ⅰ・Ⅱは 外国人留学生のみ履修可、 集中講義
	大学基礎セミナーⅡ	1		○			1		30	☆佐藤勇、岡田淳、井上、中垣、木 場、金指、坂本、今川、吉田、楊	
	ICTリテラシーⅠ	1	○				1		30	飯田	
	ICTリテラシーⅡ	1			○			1	30	飯田	
	英語総合Ⅰ	1	○				1		30	高島	
	英語総合Ⅱ	1		○				1	30	本岡	
	英語総合Ⅲ	2			○			1	30	本岡	
	英語総合Ⅳ	2				○		1	30	高島	
	英語表現Ⅰ	1			○			1	30	岩崎・(マコート)	
	英語表現Ⅱ	1				○		1	30	岩崎・(マコート)	
	英語表現Ⅲ	2	○					1	30	岩崎・(マコート)	
	英語表現Ⅳ	2		○				1	30	岩崎・(マコート)	
	中国語Ⅰ	1・2		○				1	30	(徐)	
	中国語Ⅱ	1・2			○			1	30	(徐)	
	韓国語Ⅰ	1・2		○				1	30	(鞠)	
	韓国語Ⅱ	1・2			○			1	30	(鞠)	
	ドイツ語Ⅰ	1・2		○				1	30	(小田)	
	ドイツ語Ⅱ	1・2			○			1	30	(小田)	
	アカデミック日本語Ⅰ	1	○					1	30	中石	
	アカデミック日本語Ⅱ	1			○			1	30	中石	
スポーツ実技Ⅰ	1	○					1	30	(弘中)・(村上)		
スポーツ実技Ⅱ	2			○			1	30	未定		
保健体育理論	2				○		2	30	未定		
全 業 学 科 共 通 教 育 の 科 目 概 要	哲学	1・2・3・4	○				2		30	大草	[※令和7年度のみ第2Q開講] 必修2単位 選択8単位以上
	文学	1・2・3・4		○			2		30	福田	
	芸術	1・2・3・4			○			2	30	(佐々木悠)	
	心理学	1・2・3・4				○		2	30	古屋	
	社会学	1・2・3・4	○					2	30	澤田	
	歴史学	1・2・3・4		○				2	30	岡本	
	倫理学	1・2・3・4			○			2	30	大草	
	経済学	1・2・3・4	○					2	30	山根	
	科学史	1・2・3・4	○					2	30	☆村田、馬本、菅、福永、八木、米村、岩田、 小林、長尾、吉野、松崎	
	生命倫理	1・2・3・4		○				2	30	吉川・古山	
	基礎数学	1・2・3・4			○			2	30	岩田	
	統計入門	1・2・3・4				○	2		30	飯田	
	家族社会学	1・2・3・4				○		2	30	澤田	
	文化人類学	1・2・3・4		○				2	30	上水流	
	日本国憲法	1・2・3・4		○				2	30	岡田 ^高	
	法学	1・2・3・4			○			2	30	岡田 ^高	
	食と健康	1・2・3・4				○		2	30	長尾	
いのちと科学	1・2・3・4	○					2	30	加藤 ^洋		
環境と科学	1・2・3・4		○				2	30	☆原田 ^浩 、内藤		
生活に役立つ力学	1・2・3・4			○			2	30	(吉野)		
地域社会と言語	1・2・3・4				○		2	30	小川 ^俊		
論 理 思 考 表 現	アカデミック・ライティング	1			○		1		30	☆吉田、俵、土路生、加藤 ^洋 、岡村、今 元、池内、長谷川 ^純 、小澤、國定	必修1単位 選択1単位以上 [※令和8年度以降は開講しない]
	クリティカル・シンキング	1・2				○		1	30	☆古屋、池田、土路生、加利川、金 指、久野、藤巻、越智、勝見、米倉	
	プレゼンテーション演習	1				○		1	30	☆西上、助川、川野、佐藤、 伊藤 ^泰	
地 域 課 題	国際社会の理解	2・3・4			○		2		30	☆上水流、岡田 ^高 、柳下、手島	選択2単位以上
	地域情報発信論	2・3・4		○			2		30	☆広谷・藤井 ^宣 ・吉田 ^倫	
	地域教養ゼミナールA(エリア型)	2・3・4	○		○			2	30	担当教員	
	地域教養ゼミナールB(テーマ型)	2・3・4		○		○		2	30	担当教員	
	地域教養ゼミナールC(複合型)	2・3・4	○	○	○	○		2	30	担当教員	
キ ャ リ ア 開 発	キャリアビジョン(デベロップメント)	2・3・4	○				2		30	原田 ^淳	選択2単位以上
	ライフデザイン	2・3・4		○			2		30	☆岡田 ^高 、田中 ^{聡子} 、村上、川畑	
	ボランティア	2・3・4	○					2	30	手島	
	インターンシップ	2・3・4				○		2	30	原田 ^淳	
	リーダー論	3・4		○				2	30	☆原田 ^淳 、魚谷	
ダ イ バ ー シ ョ ン テ ィ	多様性理解(ジェンダー論)	2・3・4			○		2		30	澤田	選択2単位以上 [※令和8年度以降は開講しない]
	人間関係論	2・3・4			○		2		30	勝見	
	人権論	2・3・4				○		2	30	岡田 ^高	
	世界の宗教	2・3・4				○		2	30	上水流	
	世界の言語と文化	1・2・3・4				○		2	30	☆河村、馬本、上水流	
	海外研修	1・2・3・4	認定	認定	認定	認定		2	30	本岡・高島	
選 自 採 由	※ 全学共通教育科目枠から自由選択科目として6単位以上取得(入門演習を除く)									選択6単位以上	
入 門 演 習	英語入門演習	1	○	○				1	30	(笠本)	卒業要件外
	数学入門演習	1	○	○				1	30	岩田	
	生物入門演習	1	○	○				1	30	伊原	
	物理入門演習	1	○	○				1	30	米村	
	化学入門演習	1	○	○				1	30	小関	
小計(A)							36				36単位以上

□ 保健福祉学部 保健福祉学科コミュニケーション障害学コース(令和7年度入学生)

授業科目の名称	配当年次	開講期				単位数		授業時間数	担当教員 ()は学外講師 ☆マークは代表教員	備考
		①	②	③	④	必修	選択			
人間と社会生活の理解に関する科目	科学と医学	1		○			1	15	田口、藤巻、安武、森	必修4単位以上
	解剖学概論	1	○				1	15	未定	
	生理学概論	1	○				1	15	森	
	微生物と人間	1			○		1	15	加藤 ^洋	
	人間発達学	1				○	1	15	新任	
	発達心理学	1	○				1	15	古屋	
	生活環境科学	2		○			1	15	吉田 ^倫	
	福祉と社会問題	2		○			1	15	坊岡、金子	
	小計(B)						4			
地域包括ケアシステムを地域発展させる科目	保健福祉概論	1	○				1	15	田中 ^睦 ・田中 ^聡 ・渡辺 ^陽 ・坊岡・金子・森・沖西	必修5単位以上
	保健医療福祉行政論	3		○			1	15	安武、菅井	
	ケアマネジメント論	3	○				1	15	金子、坊岡	
	地域包括ケアシステム論	2				○	1	15	金子、俵、積山	
	リーダーシップと協働	4			○		1	15	坊岡、黒田、島谷、西田、細羽	
	チーム医療福祉論	1		○			1	15	吉川・渡辺 ^陽 ・梅井・長谷川 ^純 ・永野	
	チーム医療福祉演習	4			○		1	30	古山ほか	
	小計(C)						5			
専門領域理解の基礎となる科目	臨床心理学	1				○	1	15	勝見	15単位以上
	カウンセリング論	2			○		1	15	勝見	
	病理学	1			○	○	1	15	(小田)	
	薬理学	2	○				1	15	(柳瀬)	
	生体機能学	1		○			1	15	森	
	神経生理学	1			○		1	15	森	
	臨床栄養学	1			○		1	15	栢下	
	一般臨床医学	2		○			1	15	未定	
	内科学	2	○				1	15	(奥崎)	
	神経内科学概論Ⅰ	2	○				1	15	未定	
	神経内科学概論Ⅱ	2		○			1	15	未定	
	精神医学	2		○			1	15	藤巻	
	小児科学	2			○		1	15	新任	
	リハビリテーション医学	2				○	1	15	(三上)ほか	
	医療安全学	2			○		1	15	安武、田口	
	救急医療	2			○	○	1	15	(武田)	
	エンドオブライフ・ケア	3	○				1	15	渡辺 ^陽 、田中 ^聡	
保健医療福祉関係法規	1	○				1	15	岡田 ^ゆ 、安武、細川、越智、西田		
小計(D)						12			15単位以上	
合計(A+B+C+D)						57			60単位以上	

□ 保健福祉学部 保健福祉学科コミュニケーション障害学コース(令和7年度入学生)

	授業科目の名称	配当年次	開講期				単位数		授業時間数	担当教員 ()は学外講師 ☆マークは代表教員	備考
			①	②	③	④	必修	選択			
基礎科目	言語理論と言語心理	1			○	○	2		30	(林)、(松見)	必修20単位
	音声学Ⅰ	1		○		1		15	津田		
	音声学Ⅱ	1			○		2		30	津田	
	音声・聴覚情報処理	1			○		1		15	伊集院	
	音声・聴覚情報処理演習	1				○	1		30	伊集院	
	言語発達	1			○		2		30	細川、堀江、小島	
	心理測定法	2			○		1		30	古屋	
	学習認知心理学	1		○			2		30	古屋	
	生涯発達心理学	3		○			2		30	古屋	
	解剖生理学演習	1			○	○	1		30	森、小澤、田口	
	脳機能画像学	2				○	1		15	津田	
	耳鼻咽喉科学	2	○	○			2		30	田口	
	形成外科学	3		○			1		15	(永松、佐々木)、小澤	
	歯科口腔外科学	3		○			1		15	(柳本、吉岡、浜名、山崎)	
	計(履修方法・卒業要件)							20			
専門領域必修科目	コミュニケーション障害学概論	1	○				1		15	小澤、坊岡、佐藤紀、堀江、新任、中村文、長谷川純、津田、小島、細川、今川	必修36単位
	コミュニケーション障害学診断法	2			○	○	2		60	中村文、坊岡、堀江、小島、細川、津田、今川	
	言語聴覚療法管理学Ⅰ	2				○	1		15	佐藤 ほか	
	言語聴覚療法管理学Ⅱ	4	○				1		15	佐藤 ほか	
	発達系障害学概論Ⅰ	2	○				1		15	細川、堀江	
	発達系障害学概論Ⅱ	2		○			1		15	堀江、細川	
	発達系障害学演習Ⅰ(診断)	2			○		1		30	堀江、細川、小島	
	発達系障害学演習Ⅱ(評価)	3	○				1		30	細川、堀江、小島	
	発達系障害学演習Ⅲ(支援)	3		○			1		30	細川、堀江、小島	
	発達系障害学演習Ⅳ(総合・地域)	3				○	1		30	堀江、細川、小島	
	認知系障害学概論Ⅰ	2	○				1		15	津田・未定・坊岡	
	認知系障害学概論Ⅱ	2		○			1		15	津田・坊岡・未定	
	認知系障害学演習Ⅰ(診断)	2			○		1		30	坊岡・津田・未定	
	認知系障害学演習Ⅱ(評価)	3	○				1		30	坊岡・未定・津田	
	認知系障害学演習Ⅲ(支援)	3		○			1		30	津田・坊岡・未定	
	認知系障害学演習Ⅳ(総合・地域)	3				○	1		30	坊岡・津田・未定	
	聴覚系障害学概論Ⅰ	2		○			1		15	長谷川純	
	聴覚系障害学概論Ⅱ	3	○				1		15	佐藤紀	
	聴覚系障害学演習Ⅰ(基礎聴覚検査)	2		○			1		30	長谷川純・小島・古屋・今川	
	聴覚系障害学演習Ⅱ(補聴器)	2			○		1		30	長谷川純・今川	
	聴覚系障害学演習Ⅲ(小児聴覚検査)	2				○	1		30	佐藤紀・今川	
	聴覚系障害学演習Ⅳ(人工内耳)	3	○				1		30	佐藤紀・今川	
	聴覚系障害学演習Ⅴ(小児難聴・地域連携)	3				○	1		30	佐藤紀、長谷川、今川	
	発声発語・嚥下系障害学概論Ⅰ(音声障害・吃音)	2	○				2		30	田口、中村	
	発声発語・嚥下系障害学概論Ⅱ(構音障害)	2		○			2		30	小澤	
	発声発語・嚥下系障害学概論Ⅲ(嚥下障害・頭頸部がんリハ)	3	○				2		30	中村	
	発声発語・嚥下系障害学演習Ⅰ(音声障害・吃音評価支援法)	2			○		1		30	田口、中村	
発声発語・嚥下系障害学演習Ⅱ(構音障害評価支援法)	2				○	1		30	小澤		
発声発語・嚥下系障害学演習Ⅲ(嚥下・頭頸部がんリハ評価支援法)	3		○			1		30	中村		
地域言語聴覚療法学Ⅰ	1				○	1		15	津田 ほか		
地域言語聴覚療法学Ⅱ	4	○				1		15	細川 ほか		
コミュニケーション科学研究法	3				○	1		30	古屋、伊集院、細川、佐藤紀、田口		
計(履修方法・卒業要件)							36				
専門科目選択	拡大・代替コミュニケーション特論	4	○				1	15	坊岡	選択1単位以上	
	心理測定法特論	3		○			1	15	古屋		
	音楽療法概論	4		○			1	15	(西村)		
計(履修方法・卒業要件)							1				
臨床実習	臨床実習Ⅰ	2		○			1	40	坊岡、小澤、佐藤紀、堀江、未定、中村文、小島、長谷川純、細川、津田、今川	必修15単位	
	臨床実習Ⅱ	3		○			10	400	坊岡、小澤、佐藤紀、堀江、未定、中村文、小島、長谷川純、細川、津田、今川		
	臨床実習Ⅲ	4		○			4	160	坊岡、小澤、佐藤紀、堀江、未定、中村文、小島、長谷川純、細川、津田、今川		
計(履修方法・卒業要件)							15				
卒業研究	地域課題解決研究	4		○			2	60		選択2単位	
	卒業研究	4		○			2	60	坊岡、伊集院、古屋、小澤、佐藤紀、田口、細川、堀江、未定、中村文、小島、長谷川純、津田、今川		
計(履修方法・卒業要件)							2				
小計							74			74単位以上	
総合計							134			134単位以上	

履修制限について

保健福祉学部履修要領により、専門教育特有の科目(必修科目に限る)の履修は、次の要件を満たしていることを履修の条件とする。

○ 臨床実習Ⅱ

専門領域特有の科目のうち、専門必修科目であるコミュニケーション障害学概論、コミュニケーション障害学診断法、発達系障害学概論Ⅰ・Ⅱ及び演習Ⅰ、認知系障害学概論Ⅰ・Ⅱ及び演習Ⅰ、聴覚系障害学概論Ⅰ、聴覚系障害学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、発声発語・嚥下系障害学概論Ⅰ・Ⅱ及び演習Ⅰ・Ⅱと臨床実習Ⅰの単位をすべて修得していること。

○ 臨床実習Ⅲ

臨床実習Ⅱの単位を修得し、さらに専門必修科目である発達系障害学演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、認知系障害学演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、聴覚系障害学概論Ⅱ及び聴覚系障害学演習Ⅳ・Ⅴ、発声発語・嚥下系障害学概論Ⅲ及び演習Ⅲの単位をすべて修得していること。

○ 卒業研究

臨床実習Ⅱとコミュニケーション科学研究法の単位を修得していること。
臨床実習Ⅲの単位を修得見込みであること。